〈生徒の感想〉

自分の一言一言に責任を持つのは大切だと思った。医療従事者の人達は、仕事もたいへんだが、周りの人からどう思われているのかも気にして、複雑な気持ちで日々生活しているのかと思った。当たり前に病院がやっていることにも感謝するべきだと思った。

人はたいへんな状況になると自分のことしか考えられなくなるのだろうか？（1年生）

周りの人に悪口を言われても、必死になって働いていると知って、とても強いなと思いました。自分が感染してしまうんじゃないかという不安と戦いながら、毎日過ごしている、と言うのは、私には耐えられないので、凄いことなんだとあらためて感じられました。

医療関係の方々がいないと感染者は減らないし、たいへんなことになると思います。だから、もっと感謝したいし、もっと今コロナウイルスと戦っている人達について、知りたいと思いました。確かに病院では感染確率が高いかもしれないけど、一生懸命に働いている人達に、ひどいことは言ってはいけないと思います。(1年生)

人の弱さをあらためて感じた。私も悪いことではなく、共感して欲しいと思ったりすることがあります。そして、共感してもらえれば喜び、共感してもらえなかったら不安になります。これは人の弱さでもあるが、自分の弱さでもあるので、そこを見つめ直し、今日の道徳の時間の学習を生かしていきたいと思います。（２年生）

周りの人がコロナに感染して、復活してきてもいつも通りに接していきたいと思った。相手の立場に立った時のことを考えて、物事を言おうと思った。

自分の弱みを相手とかにやつ当たりすることはないし、相手が傷つくことが分かっているのなら、自分の気持ちをおさえることが大切だと思った。（２年生）

コロナウイルスは、誰もがこわいものだともいます。コロナがはやり始めてから、いろいろな対策や予防をしてきました。きっとコロナウイルスへの不安などはひとりでかかえ込んだりせず、友達と遊んだり、たくさん笑ったりして不安を忘れられればいいなと思います。（３年生）

不確かな情報を広めたり、大げさにしたりすることは、誰かに迷惑がかかり悲しませることになる。それを理解し生活していきたい。いつコロナが終息するか分からなく、この先、光があるのかも分からない状況で、差別や非難があるこの世の中は辛いなと思った。

人間は１人では生きていけないし、流されやすいので、誤った情報を適切に選択し、整理することが大切だと思った。（３年生）

今のコロナウイルスが流行する世の中で、感染防止の次に大切なことが、人権を守ることだと思った。病院の人達は、命がけで感染者の命を救おうとしているので、今回の物語のような考えではなく、感謝をするべきだ。しかし、人間の心の弱さというものは、このようなときにどうしても出てきてしまうので、人同士が協力し合うことが大切だと思った。（３年生）